

県民との意見交換実施状況一覧（主な意見）

平成29年10月18日現在

※しあわせ信州創造プラン「施策の総合的展開」に沿って整理しています

会議名	日時	参加者	人数	分野※	主な意見
地域戦略会議 ＜北信地域振興局＞	H29.9.27	市町村長	6	産業・雇用	<ul style="list-style-type: none"> ・地域最大の課題は人口減少。若い人が戻ってくるような魅力的な産業の芽だしが必要 ・企業誘致に取り組んでいるが、新潟県の優遇策が強すぎて太刀打ちできない。補助制度や優遇策は県全体で検討してほしい ・人口減少対策は、魅力ある地域として発展すること。そのための事業の誘致、起業、精神的な取組などにより人を呼び込めないか ・インバウンド対応として、トイレ整備を進めてほしい
				健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・病院におけるインバウンド対応について、県として進める方向性を示してほしい
中野経済懇話会 ＜北信地域振興局＞	H29.9.20	企業経営者等	9	地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少が著しい地域があり、将来立ち行かないことが懸念。市町村合併を計画に入れ込んでどうか ・住んでいる人が幸せを感じ、外の人がこの地域に来ないなんてもったいないと言えるくらい良い地域にしていくべき
知事とのタウンミーティング(飯山) ＜企画振興部＞	H29.9.16	一般県民	18	産業・雇用	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の数を増やすには雇用が必要。複数の仕事を掛け持ち可能で、その方が働きやすい、雇いやすいということを浸透させてはどうか
				地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・人口が都市部に集中すれば、周辺部には空間的なゆとりが生まれる。自然に近い暮らしや経験をアピールできる ・雪堀合戦のようなイベントをやれば、地元のお年寄りの力や地域の暮らしを伝えられるのではないか
				健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・すぐに診てもらえるようにしないと人口は増えない。地元出身の医師を育てたり、医師の地元への愛着を育てることが重要
				教育	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と地域の壁をなくし、相互にコミュニケーションをとることが大切
諏訪東京理科大学学生からの施策提案 ＜諏訪地域振興局＞	H29.9.11	フレッシュマンゼミ及び総合演習を受講した1～4年生	16	産業・雇用	<ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド促進のため、外国人旅行者にTHETA(360度全天球カメラ)を貸し出し、撮影した動画や写真をSNSに投稿・宣伝してもらおう。また、これをさらに編集しPR映像を作成・SNSに投稿 ・農業体験を通じた交流人口の増加、新規就農への支援 ・農産物を売るため、都市部スーパーと連携したり、ふるさと納税返礼品として活用
				社会基盤	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンド運行予約手段としてスマホアプリの活用 ・新交通手段としてのオムニライドやセグウェイなどのパーソナルモビリティの活用
知事とのタウンミーティング(松本) ＜企画振興部＞	H29.9.10	一般県民	26	産業・雇用	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県にもコワーキングスペースやハッカソンのような今どきのものがあるのに、知られていない。ここを見れば分かるというようなポータルがあれば良い ・良いもの(自然、ワイン、野菜、温泉、製造技術など)が沢山あるのに情報発信できる人がいないので、発信してほしい人とそれに応える人材をつなぐシステムを作れないか
				地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・人が少ないと課題解決ができない。行政と一緒に人を呼び込む必要がある。また、子どもの頃から地域に関わることで愛着を持たせられるような企画をする組織が出来れば良い ・後継者の不足に、外から人を呼んでグローバルに対応できないか
				社会基盤	<ul style="list-style-type: none"> ・農村部の交通をどうつなぐか

会議名	日時	参加者	人数	分野※	主な意見
(知事とのタウンミーティング(松本))				教育	<ul style="list-style-type: none"> ・高校で学びたいことを学べる仕組みがあると良い ・学校は今のような画一的(6.3.3.4制)なものではなく、色々な年代の人たちが学べた方が良い ・一方的に教えるのではなく、教え合う仕組みにならないか。教えることで学ぶことができ、人との繋がりができる ・公民館を活用し、伝統的な知識や技術を高齢者が子どもに伝える場を作れば良い
市町村長との意見交換 ＜上田地域振興局＞	H29.9.7	市町村長	4	産業・雇用	・民間会社による観光実態調査では、観光客のほとんどが関東圏。また、ふるさと納税の3万円以上の寄付者も関東圏が多い。そのため、ターゲットを関東圏に絞る必要がある
				地域づくり	・東京オリ・パラ、ラグビーW杯の開催を見据え、地域に集う若者と外国人との交流に関しても何らかの対応が必要
				健康・福祉	・県民の関心事の8～9割が医療や福祉など生活に密着した事柄。県行政と県民との距離感を縮める意味でも、こうしたものをしっかり地域編に書き込んで欲しい
第4回長野県食と農業農村振興審議会 ＜農政部＞	H29.8.29	審議会委員	11	産業・雇用	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、農業分野における雇用について、しっかり位置付ける必要がある ・温暖化など、環境の変化に対応できる農業技術の開発、普及を関係機関と連携し引き続き行ってほしい
				地域づくり	・農産物も県内地域ごとの特色があるので、この特色を活かした計画の策定をお願いしたい
インターンシップ(大学生)との意見交換 ＜県民文化部＞	H29.8.23	県外大学生(県庁インターンシップ)	3	産業・雇用	・県内の就職についての情報などについて大学生まで直接届いていないので、情報を届ける工夫が必要
				地域づくり	・若い世代から見ても魅力がある遊べる場所が少ない
				社会基盤	・自動車ではなく新幹線で遊びに来た時に新幹線駅からの移動手段が充実していれば良い
佐久の養殖漁業について意見交換 ＜佐久地域振興局＞	H29.8.3	佐久養殖漁業協同組合、八千穂漁業	2	産業・雇用	<ul style="list-style-type: none"> ・材料費が高い信州サーモンは加工品にすると高額になり、土産品等で売るのが難しい ・信州サーモンは旅館やホテルでは料理のメインディッシュとして需要があり、高額かつ小ロットでも購入する ・フナは温水魚で少量の水で育成ができ、田んぼを少し改良すれば生産可能。小売業者からの需要もあるので、生産のために、まずは専門の養殖として確立させることが必要
地域の医療関係者との懇談 ＜北アルプス地域振興局＞	H29.8.3	地域の医療関係者	4	健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科医師会でも在宅医療を進めようという考えがあるが、出来る医院と出来ない医院の二極化になってしまっているため、在宅介護を支えるための歯科医師の取組支援が必要 ・健康寿命を延ばすためには歯が大切。口の中を守る習慣を教えることで、自分で食べられる期間が延び、介護の負担軽減にもなる
地域の医療関係者との懇談 ＜北アルプス地域振興局＞	H29.8.1	地域の医療関係者	4	地域づくり	・地元出身の薬剤師が地元に戻ってこられるような、働きやすい環境づくりや魅力ある地域づくりが必要
				社会基盤	・お年寄りがいつまでも自分の足で薬局に来て頂けるようなタウンバスの充実など高齢者の足の確保が必要
地域の医療関係者との懇談 ＜北アルプス地域振興局＞	H29.7.31	地域の医療関係者	4	地域づくり	・人々が地域の歴史を大事にし、お祭りなど伝統文化が残る地域になれば良い
				健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療を引っ張る地域リーダーがいて、それを支える資格を持ったパートや住民のために頑張ろうという意識のあるボランティアがいると良い ・過疎地域の医療の確保とそのための二次医療圏での医療の充実
地域の医療関係者との懇談 ＜北アルプス地域振興局＞	H29.7.28	地域の医療関係者	8	健康・福祉	・産科医が2人体制だと年間300件の分娩で赤字解消できるが、出生数が減っている状況から難しい

会議名	日時	参加者	人数	分野※	主な意見
野菜経営の現状と今後の展望等について意見交換 ＜佐久地域振興局＞	H29.7.19	野辺山で野菜専作の大規模経営者	2	産業・雇用	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人技能実習生が通年日本国内に滞在できるようにするための書類整備が煩雑で大変 ・法人化にはメリットとデメリットがある。法人にしたから失敗したという声も聞くが、現在の経営規模からすると、メリットとデメリットを精査し、真剣に法人化も検討しなければならない
地域の医療関係者との懇談 ＜北アルプス地域振興局＞	H29.7.11	地域の医療関係者	7	健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師はぎりぎり確保できているが、薬剤師は不足している ・特色ある医療に取り組むことで、外来患者、手術件数も増えている。病床数を増やしたい
佐久地域の特産林産物について意見交換 ＜佐久地域振興局＞	H29.7.10	特産林産物(きのこ、山菜等)の生産・販売者	7	産業・雇用	<ul style="list-style-type: none"> ・雑穀類(鞍掛豆、花豆、黒豆、エゴマ等)は自分の自宅でも栽培ができ、体力が衰えた方でも出荷が可能。また都市部の健康志向の強い人を中心に需要がある ・小売業者のバイヤーは定期的に多量の農産物を扱う農協を頼っており、小ロットだと扱いにくい
大学生(長野大学)との意見交換 ＜環境部＞	H29.7.6	長野大学環境ツーリズム学部学生	38	産業・雇用 地域づくり 環境	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県の長所(食べ物、自然、歴史など)を活かした観光の振興 ・地域の中で経済をまわす仕組みづくりや、地域の行事を通じた交流の場づくりを通じた、地域が仲良く、子どもが沢山いて、高齢者が住みやすい暮らし ・若者に魅力的な、高齢者にやさしい、子どもの笑顔がある信州(県民一人ひとりが長野県を好きになるような信州) ・高齢者向けの買い物代行サービスなどにより、誰もが安心して暮らせる信州 ・公共交通機関の利用促進によるCO2排出抑制などにより、自然環境を保全
星空をテーマにした観光地域づくりについて意見交換 ＜佐久地域振興局＞	H29.6.29	野辺山宇宙電波観測所、南牧村観光協会、八ヶ岳グレイスホテル(星空案内人)	3	地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県は市街地は明るい、郊外へ移動すれば、すぐに山の中など星空の観望に適した場所にアクセスできる。これは他県にない強みではないか ・南牧村内は基本的にどこでも星空を見られるが、村観光協会は、安心して星空を楽しんでもらうために駐車場やトイレがある観望スポットを指定し、マップで周知している
ゆい自然農園との意見交換 ＜佐久地域振興局＞	H29.6.23	農業生産者	1	産業・雇用	<ul style="list-style-type: none"> ・農業は先代と同じことをやっていくのではなく、新たなことに挑戦することが必要 ・いつ何を植えて、その時の気候はこうだったという農作業歴のような記録をクラウド上に残している。このストックが財産になっている ・地産地産を進めようとしても、近くのものが入らないのが現実。近さはメリットにならない